

教育を拓く知恵

- 1 本年度重点施策「学習機会の提供」について
- 2 小学校外国語教育の現状（第2回）

本年度重点施策5つのうち、今月号では「学習機会の提供」について、主な内容を報告いたします。

平成23年度の調査によると、長野県の社会教育施設は、公民館数が全国1位、博物館数は全国2位、図書館数は全国6位と全国でも上位の水準であるということです。

中野市においても、多くの社会教育施設があり、今年度も多様な市民ニーズに対応した講座などを設け、多くの市民の皆様にご利用いただいております。

公民館について

市内には中央公民館、北部公民館、西部公民館、豊田公民館の4つの公民館があり、それぞれの公民館では地域性などを考慮し、毎年内容を工夫しながら魅力ある講座を開催しております。

公民館の具体的な講座内容や活動内容については、毎月発行される広報なかのに合冊されている「文化なかの」で紹介されています。私たちは、生涯にわたって学ぶことにより、それを通して生涯学習の

大切さを感じとり、豊かな人生を送りたいと願っています。公民館の講座に参加されている皆さんは、自ら学びたいという前向きな気持ちで講座に臨み、講座を通して多くの友人もつくられています。趣味の分野にとどまらず、日常生活の中で役立つ内容も多くあるため「毎日が張り合いになる」と楽しそうに語られる方も多くみられます。

博物館について

柳沢遺跡から出土した青銅器13点（銅戈8点、銅鐸5点）を含む212点が、今年3月25日に県宝に指定され告示されました。中野市立博物館では、これら重要な文化財を展示するための展示室の整備を進めております。



▲文化財の展示の様子



▲真剣な眼差しで観察しています

柳沢遺跡からの出土品については、発掘当時から全国的なニュースとなり注目を浴びてきました。中野市にとって全国に誇れる貴重な文化財であり、将来にわたって大切にしながら、歴史的なことを学ぶことのできる学習材でもあります。

また、中野市立博物館では、子供から大人まで興味や関心をもって学んでいただける各種講座やイベントを企画しております。特に歴史や科学の分野では、今話題の内容を提議できるような努めております。

図書館について

図書館は、情報発信の基地であります。

充実した蔵書が学習材であり、蔵書検索にあたっては、



▲各種イベントも行っています

中野市立図書館と北部分館、西部分館、豊田分館は情報リンクされており、どこからでもインターネットで検索できます。市民の皆さんが読みたい本を探すとき、便利に利用されています。

また図書館では、子ども読書推進事業や各種講座、イベントなども企画しており、市民の皆さんへ提供しています。なかには読み聞かせのように市民グループの皆さんが自ら企画運営しながら、楽しいお話などを語っていただいているものもあります。

今年、中野市立図書館が現在の場所に移ってから20年という節目の年を迎え、さまざまなイベントや講座を企画しています。図書館だよりのほかに、ホームページなどでも情報を随時紹介していますので、ぜひご覧ください。

小学校外国語教育の現状 (第2回)

これからの小学校外国語教育

8月発行の教育なかの夏号で、小学校英語の実際の教室の様子を紹介いたしました。

今回は、児童・先生方の声と、また実際に学校を訪問して感じたことをもとに、成果と課題についてまとめてみます。

聞き話す力の目標達成は

小学校英語の目標は、基本的な表現に慣れて、聞いたり話したりできるようになる下地を養うことでした。達成度はどうなのか、市内の中学校の英語教諭に聞いてみました。すると、「聞き話すことに慣れていて、中学校の授業にスムーズに入れた」という声が返ってきました。

さらに中学校英語を初めて経験した中学1年生2校2学級の生徒に、「小学校の英語で身についたことは何か」とアンケートをお願いしました。結果は、「英語をもっと話せるようになりたいと思った」と「英語が好きになった」という答えが他を圧倒していました。

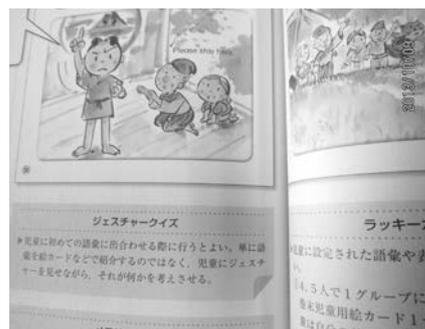


▲英語のゲームに夢中

英語学習に意欲満々な様子があるかえます。また、小学校の先生方の努力が十分に報われているように思います。

ゲームを有効に生かそう

ランダムに選んだ小学校4校4学級の6年生に英語の時間が楽しい理由をアンケートで聞いてみました。一番多い理由は、「英語のゲームが楽しい」、続いて、「少しづつ英語が話せるようになっていくから」でした。遊び感覚のあるゲームで、体を動かしながら英語を学ぶことは、小学生にとつては想像以上に有効な学習活動なのでしょう。



▲教材でもゲーム紹介

また文科省配布の教材「EFL Friends」でも、教材ごとにゲームが準備されています。小学校の先生はこれを生かして、活気のある英語授業づくりに努めています。

英語が難しいと思う時

児童に英語が難しいと思う時を複数回答で尋ねました。その結果、約25%前後の児童が、「英語の言葉をすぐに忘れてしまうこと」と「英語の発音が難しくつまらなくなる」と答えています。

英語を忘れてしまうことについては、外国語を習得するには繰り返しの復習が必要ですので、小学校の時代から家庭学習の習慣づけを身につけるようにしていきたいものです。

また、英語の発音は、小学

校では慣れ親しむことを目標にしていますので、家庭ではどんな発音でも認め、励ますことが将来の話す力が高まっていくものになることと思います。

これからの英語教室

学校に外国語の授業が取り入れられて3年目、この報告のように着実な成果を収めてきました。市教育委員会としても、小学校の先生方に、「英語指導の実際」の研修会を2年間開催し、指導力の向上に努めてきました。

児童理解に基づく指導力では、担任に勝る者はおりません。しかし、英語力では母国語とするAETが優れています。一層の成果を収めていくためには、現在、月に1回のAETの学校訪問を、もう少し増やす段階にさしかかってきています。担任とAETが協力し合い、さらなる効果があがるようにするために、今後の課題とします。

文科省ではさまざまな提言を受け、小学校外国語を5・6年生には週3時間の教科にしようかと検討しています。市教育委員会も小中学校の英語力向上にしっかりと対応してまいります。

教育委員会の主な活動

1月	12月	11月
20日 県教委と市町村 教委の連絡会	下旬 定例教育委員会	5日 第5回校長会
22日 第4回教頭会	5日 第6回校長会	6日 小学校合同音楽会
下旬 定例教育委員会	26日 子ども議会 定例教育委員会	12日 信濃教育会全県 研究大会
		18日 県教委と市町村 教委の連絡会
		20日 長野県市町村教 育委員会連絡協 議会(第2回代 議員会)